

特別活動 学級活動（２）指導案

指導者 教 諭 中川 英子（T1）
栄養教諭 村上恵美子（T2）

- 1 日時 平成28年11月18日（金）第5校時
- 2 学年 第2学年 12名（男子5名 女子7名）
- 3 題材名 「かむことの大切さ」
- 4 題材について

本題材は、小学校学習指導要領特別活動の学級活動（２）事項キ「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」を受けて構成したものである。よくかむことは、消化吸収によい、むし歯を予防する、味がよくわかる、脳が活性化する、食べすぎを防ぐ、あごが発達するなど、体の健康にとって数多くのよい効果がある。しかし、実際の食事ではなかなかかむことを意識して食べることは少なく、また自然とあまりかまなくてもよい柔らかい食事や料理を好んで食べてしまう傾向にある。そこで、本題材では、よくかんで食べることが自分の体によいことを実感させることを通して、自分の体によい食べ方について理解し、自分の生活においても実践していこうという意欲を持たせることをねらいとする。

本学級の児童は、朝から「今日は、ラーメンじゃけえ、楽しみじゃ。」「今日の好きな物は、ハンバーグ。」等と言って、毎日、給食の時間を楽しみにしている。何でもよく食べる児童が多いが、中には野菜嫌いの児童もいる。給食を食べる時間は、およそ20分を目安としているが、早く食べることを競争のようにして食べている児童が2名いる。他の児童は、自分のペースで食べているが、しっかりかんで食べている児童は少ない。

指導に当たってはまず、かんで食事をする生物である自分たちがあまりかまなくてよい食べ物を好むようになってきていること、よくかまずに食事をしていることに気付かせる。そこで、よくかんで食べることのよさについて、模型を使っての説明や体験を通して感じさせ再確認させる。そして、よくかんで食べるために、食べ方や時間、食事の内容など、気を付けるとよいことについて話し合い、自分のめあてをみつけ、実践につなげていきたい。また、各自のめあてについて家庭へ知らせ、家族からの励ましをもらいながら日常的に実践できるようにしたい。さらに、道徳の時間の授業と関連させることによって、本時の正確な知識をもとに、心情理解や態度の育成を図りたい。

5 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自分の実態に照らし合わせた めあてを立てている。		よくかんで食べると消化に良い、お いしさを感じるなどのよさについ て理解している。

6 指導計画

事前 事前アンケート（かむことへの意識調査）
本時 「かむことの大切さ」
事後 かむかむチェック週間の実施、給食時間における指導

7 食育の視点

・かむことのよさを理解し、すすんでよくかんで食べようとする。＜心身の健康＞

8 本時の指導

(1) 目標

かむことのよさや大切さを理解し、よくかむことを意識して食べようとするができる。

(2) 準備物

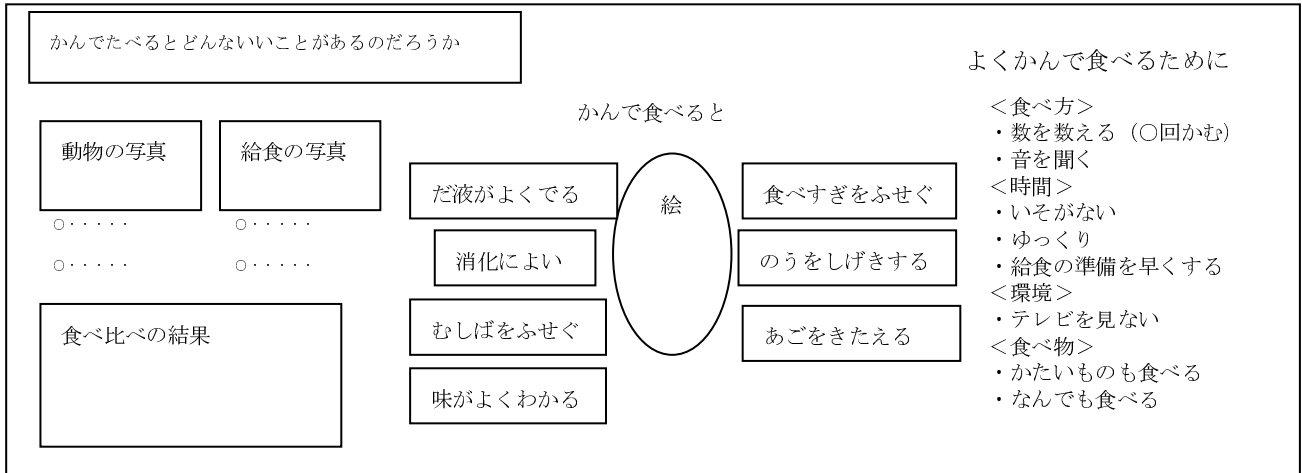
パソコン, スクリーン, 写真 (動物・給食時間), 消化のしくみ説明模型, かむ人物イラスト, かむ効果文字カード, 食品 (説明用ビスケット, 試食用ゼリー・りんご), ワークシート

(3) 展開

	学習活動と内容	指導上の留意点		評価 (評価方法)
		T1	T2	
導入	<p>1 動物とヒトの食べ方の違いを見つける。</p> <p>2 アンケート結果から, 自分たちのかむことに関する実態を知る。</p>	<p>・動画を見る際に口元の動きに注目させる。</p> <p>・アンケート結果を伝えることで本時の課題へとつなげる。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">かんで食べるとどんないいことがあるのだろうか。</div>				
展開	<p>3 かんで食べることの大切さについて理解する。</p> <p>4 りんごとゼリーの食べ比べをし, かむことのよさについて気付く。</p> <p>5 よくかんで食べるためにどうしたらよいのか話し合い, 発表する。</p>	<p>・かまなくて食べられるものを食べればいいのではないかという発問をする。</p> <p>・食べ比べをして, 気付いたことをワークシートに記入させ, 発表させる。</p> <p>・食べ方だけでなく, 時間や食事の環境や内容などにも着目できるよう促す。</p>	<p>・消化のしくみについて模型を使いながらわかりやすく説明する。</p> <p>・だ液のはたらき (消化をよくする, むし歯を防ぐ, 味がよくわかる) について説明する。</p> <p>・かんだ回数, 食感や味, 音の変化を意識させながら食べるよう指示する。</p> <p>・食品によってかめるものとそうでないものがあることに気付かせる。</p> <p>・その他のかむことのよさ (脳の活性化, 食べすぎ防止, あごをきたえる) を紹介する。</p> <p>・給食での取組である「かむかむデー」について紹介し, かみごたえのある食材を食べることかむ力をつけることの必要性を意識づける。</p>	<p>かむことのよさや大切さを理解し, よくかんで食べようという意欲をもつことができたか。 (観察・発言・記述)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">かんでたべることは, からだにとってたくさんのよいはたらきがある</div>				

終末	6	これからの食べ方について、自分のめあてを決める。	・かむかむチェック週間の取組について説明する。		
----	---	--------------------------	-------------------------	--	--

(4) 板書計画



9 他教科等との関連

- ・道徳の時間「かむかむメニュー」
- ・給食時間における指導
- ・かむかむデーの献立